

# 第 73 回未来医療セミナー

消化器癌を遺伝子改変ウイルスで見て治す方法

2012.11.21 18:00~19:00

大阪大学医学部講義棟 A 講堂

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
消化器外科学 教授  
藤原 俊義



ウイルスは遺伝子を有し、他の生物の細胞を利用して増殖する。その多様な機能を遺伝子工学的に制御することで生命科学や医療の分野で大きく貢献している。私たちは、テロメラーゼ依存性に癌細胞で増殖する遺伝子改変アデノウイルスを作成した。G1 期に留まる冬眠状態の癌幹細胞や低酸素環境にある癌細胞を殺傷することができ、GFP 蛍光遺伝子を搭載することで血中循環癌細胞 (CTC) や上皮間葉転換 (EMT) を生じた癌細胞の検出にも有用である。しかし、このウイルスを用いた癌診断・治療は万能ではなく、他の診断・治療法との組み合わせなど、臨床的な視点からの集学的戦略が重要である。本講演では、遺伝子改変ウイルスの臨床応用の可能性を紹介する。

主催：未来医療交流会

後援：文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム

大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」

厚生労働省早期・探索的臨床試験拠点整備事業

大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部未来医療センター

大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

連絡先：未来医療交流会（大阪大学医学部附属病院未来医療センター内）

Tel: 06-6879-6557, 6551, Fax: 06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

